# 芦花　高等学校 令和５年度（２学年用）教科公民科　　科目 公共

教　科： 公民科　　科　目： 公共　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 21 HR～ 27 HR

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 公共』教育図書 ）

教科 公民科　　の目標：

【知識及び技能】 政治、法律、経済、地理、歴史など社会に関する基本的な知識を身につけ、それを活用するための技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 情報を収集・分析し、批判的思考力を身につけるとともに、自己表現能力を高め、社会問題に対する意見を自らの言葉で述べる力を

【学びに向かう力、人間性等】 自らの学びを主体的に進める力や、他者との協働やコミュニケーション能力を養い、共生的な社会を築く人間性を身につける。

科目 公共　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 政治・法律・経済・社会的課題などに関する基本的な知識を身につけ、それを自己の意思決定や行動に役立てる能力を習得する。そのために、憲法や基本的人権、公共性や多様性、メディアの使い方など、民主主義社会に必要な知識を学ぶ。 | 自己と他者を尊重し、批判的思考力や多様な意見を尊重する力、自己表現能力や公共的な場での議論やディベートのスキル、民主主義社会で求められる、個人の自由や権利と共同体の利益をバランスよく考える力を育成する。 | コミュニティの問題解決を目指し、他者と協働することを通じて、自己と他者を理解し、アイデンティティを確立するとともに、公正さや正義など、民主主義社会を支える価値と、積極的な市民参加意識、共生的な社会を築く姿勢を育 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A 単元　対話から生まれる公共<br>【知識及び技能】<br>・対話を行うための「場」が必要であることを理解し、その実現方法を考える。<br>・公共的空間や対話、合意形成について具体的なイメージを持ち、実践する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「会話」と「対話」の違いを認識し、意見の相違が起こる場面で対話的理性を発揮し、建設的な議論を行う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自己の意見を確立することで、自己のアイデンティティを形成するとともに、相手の意見を尊重する姿勢を身につける。<br>・学校生活や社会において、公共の概念や対話の重要性について関心を | 公共とは対話を通して，作り上げるものであることを学ぶ。対話を行うためには，自由に意見を述べる「場」が必要であることを，ハーバーマスの思想を参照しつつ理解させる。さらに公共的空間，対話，合意形成などを，より具体的にイメージさせるために文化や芸術に関する日本の俳諧サークルに注目させる。生徒が日常的に行っている「会話」と「対話」の差異から考えさせるのもよい。どのような場面で対話的理性が必要となるか，具体的に学校生活の中で意見の相違が起こる場面などを想定させる。 | 【知識・技能】<br>・ハーバーマスの対話的理性，公共圏の概念を理解している。<br>・対話や熟議を実践する条件について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・意見の異なる相手との対話が実践できる。<br>・相手の意見を受けて自分の考えを述べることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・対話によりコミュニティや社会をより良いものしていこうという意欲が見て取れる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | B 単元　功利主義と義務論<br>【知識及び技能】<br>・トロッコ問題を通じて、功利主義と義務論という倫理学の二つの考え方を理解する。<br>・現実の政策や行為が、最大多数の最大幸福や行為の動機のみに基づくものではないことを深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・自分の考えと他者の考えを比較・分析することで、倫理学における二つの考え方をより深く考える。<br>・現実の社会問題について、功利主義と義務論のどちらが適切かを判断し、自分なりの意見を表現する力を育む。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・他者の意見を尊重しながら自分自身の考えを深めることで、協調性やコミュニケーション能力を育む。 | トロッコ問題を手掛かりに，ベンサムの唱えた功利主義とカントの義務論という倫理学における二つの考え方を学習する。「最大多数の最大幸福」という「結果」を重視する立場と，行為の「動機」を重視する立場，倫理学において二つの考え方があるが，現実の政策や行為では，二者択一ではないことにも留意する。 | 【知識・技能】<br>・功利主義と義務論の相違について理解できている。<br>・感性と理性の相違について理解している。<br>・「最大多数の最大幸福」の弊害について理解できている。<br>・ベンサムとミルの功利主義の相違について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・社会現象や政策判断を，功利主義，義務論の考え方に基づき表現している。<br>・功利主義の課題をどう克服するか質的功利主義などを手掛かりに思考している。<br>・義務論に基づく社会がいかにして可能か思考している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>学習した内容を自らの倫理観，過去の行為に照らし合わせ，思考している。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C 単元　自由と正義の実現を目指して<br>【知識及び技能】<br>・ヘーゲル，アダム・スミス，ロールズの思想の基本を理解し、それぞれの思想がどのような社会的・歴史的背景で生まれたかを深める。<br>・弁証法、自由放任、格差原理などの概念を理解し、具体的な政策や社会現象と結びつけて考える能力を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・自由と正義の違いを理解し、現代社会においてそれらがどのように対立することがあるかを考える能力を深める。<br>・概念を具体的な例に結びつけ、自分なりの意見を表現する力を育む。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・思考のフレームワークを理解し、 | ヘーゲル，アダム・スミス，ロールズの思想の基本を学びつつ，自由と正義についてどのような違いがあるかに注目させる。とくに「弁証法」，「自由放任」，「格差原理」などの概念は，公共的空間を形成するうえで重要な知識として習得させる。具体的な政策，社会現象などをまじえ，理解を促す。 | 【知識・技能】<br>・ヘーゲルの弁証法，アダム・スミスの自由放任，ロールズの格差原理などの概念を理解している。<br>・自由と正義について，国家，市場，人間の本性，歴史などさまざまな観点があることを理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・自分がどの思想家の理論に共感したか，その理由を表現している。<br>・リベラリズムとリバタリアニズムの相違について説明できる。<br>・弁証法を時事問題にあてはめ思考している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・自由で公正な社会を実現に向けて主体的に思考している。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | D 単元　民主政治の歴史<br>【知識及び技能】<br>・民主政治の形成過程についての基礎的な知識を理解する。<br>・社会契約説と市民革命の関係を把握し、民主政治形成の背景を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】 | 近代ヨーロッパで，どのように民主政治が形成されてきたかを学ぶ。社会契約説と市民革命の関係に着目させる。近代ヨーロッパで，どのように民主政治が形成されてきたかを学ぶ。社会契約説と市民革命の関係に着目させる。 | 【知識・技能】<br>・社会契約説，自然権，三権分立など民主政治の重要概念を理解している。<br>・マグナカルタから世界人権宣言にいたる人権をめぐる世界史の流れを理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・個人と国家の関係を契約という視点から捉え思考、表現している。 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・民主政治の形成において、市民の役割や市民革命の意義を考える。<br>・社会契約説の限界や問題点を検討し、批判的思考力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・民主主義の重要性を理解し、社会的な問題について考える姿勢を身につける。<br>・歴史を通じて、人類が抱える普遍的な課題や価値観を学び、多様な視点を尊重する人間性を育む。 | | 【思考・判断・表現】<br>・民主政治の形成において、市民の役割や市民革命の意義を考えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自らが持っている人権（自然権）について自覚を深めている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | E 単元　日本国憲法の三つの原理<br>【知識及び技能】<br>・憲法が国家権力の縛りと国民の権利の保障を目的としていることを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「忘れられる権利」という権利について、プライバシーや情報公開といった個人の権利とのバランスを考え、自分の意見を表現することができる。<br>・男女平等を実現するための具体的な政策や法律について、社会的な観点から評価し、自分なりの意見を論理的に表現することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・異なる立場や価値観に対しても理解を深め、対話することで、自分の考えを深め、人間としての豊かな心を育む。 | 国民主権，基本的人権の尊重，平和主義の憲法の原理についての知識を習得している。憲法とは国家権力を縛り，国民の権利を守るためのものである点を強調する。<br>テーマ学習①<br>「忘れられる権利」は認められるべきか？<br>テーマ学習②<br>男女平等は法で実現できるか？ | 【知識・技能】<br>・大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を理解している。<br>・国民主権，基本的人権の尊重，平和主義，憲法の３つの基本原理について理解している。<br>・憲法改正の手続きを理解している。<br>・違憲審査権と憲法の関係について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・立憲主義の意義について適切に表現できている。<br>・憲法改正の是非について，自ら思考している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>日本国憲法の条文を読み，より理解を深めようとしている。 | | | | 8 |
| | F 単元　選挙と政治参加<br>【知識及び技能】<br>・選挙制度や投票率の仕組みや現状を理解する。<br>・選挙制度や投票率に関するデータや文献を読み解く力を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・選挙制度や投票率について、自分の意見を持ち、それを説明する力を身につける。<br>・投票率の低下の原因や解決策について自分なりの考えを持ち、それを議論する力を育む。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・投票や政治参加に対する意欲を高めることで、社会の問題について考え、自分自身や周りの人々の生活を改善するために行動する力を育む。 | 民主政治の基礎を支える選挙の仕組みについて学習し，さまざまな制度がなぜ必要とされるのかを理解させる。また民主主義を維持していくために私たちの主権者としての自覚が重要である点を強調する。さまざまな選挙制度については知識として習得するだけでなく，制度の背景にある考え方まで理解させたい。<br>テーマ学習①<br>日本の若者の投票率はなぜ低いのか？<br>テーマ学習②<br>「国民投票」は本当にベストな方法か？ | 【知識・技能】<br>・民主主義とは，国民に主権があるという基本的な考え方に基づき，これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解し，その内容を読み取っている。<br>【思考・判断・表現】<br>・個々の選挙制度についての利点と難点を，民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>選挙に関心をもち，18歳になるときを想定して，主権者としての自覚を深めている。 | | | | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | G 単元　安全保障と防衛<br>【知識及び技能】<br>・日本の安全保障政策の変遷と憲法9条の解釈を理解する。<br>・日本の安全保障政策における課題や問題点を知る。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・憲法9条の解釈や日本の安全保障政策の変遷について、多角的な視点から考え、自分なりの意見を述べることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・自分自身の考えや意見を持ち、自分の立場をしっかりと理解し、他者と対話するためのコミュニケーション能力を育む。 | 憲法9条の解釈と日本の安全保障政策の変遷を学ぶ。日米安全保障条約，自衛隊の海外派遣，集団的自衛権の容認など日本の安全保障がどのように変化してきたかを見て，現状の課題を学習する。<br>テーマ学習①<br>憲法9条と日本の安全保障をどう両立させるか？<br>テーマ学習②<br>「平和」と「安全保障」はどう違うのだろう？ | 【知識・技能】<br>・憲法9条と，自衛隊，日米安全保障条約，集団的自衛権をめぐり，さまざまな解釈と裁判があり，こんにちにいたる歴史的経緯を理解している。<br>・集団的自衛権を行使するため，整備された法律の内容を理している。<br>【思考・判断・表現】<br>・憲法9条と日本の安全保障政策の複雑な関係について理解し表現できる。<br>・日本の安全保障における課題について思考している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>平和主義という理念と，安全保障という現実のジレンマのなかで思考し，両立させる道を模索しようとしている。 | | | | 10 |
| | H 単元　現代社会の諸課題<br>【知識及び技能】<br>・課税や社会保障制度などの政策について、具体的な仕組みや背景を理解する。<br>・少子高齢化や経済停滞などの課題を、多角的な視点から学び、諸問題に対する知見を深める。<br>・AIの進化について、技術的な側面や社会への影響を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・諸問題に対して、自らの考えを整理し、論理的に表現する力を身につける。<br>・論争を避けず、さまざまな意見を | 政治や経済に関する諸課題を、テーマ学習を中心を通じて学ぶ。<br>テーマ学習①<br>格差是正のために課税すべきか？<br>テーマ学習②<br>少子高齢化問題とどう向き合うか？<br>テーマ学習③<br>日本の経済はなぜ停滞しているか？<br>テーマ学習④<br>AIの進化は仕事をどう変えるか？ | 【知識・技能】<br>・それぞれのテーマについて基本的な概念や指標、引き起こす社会問題や影響、解決策や政策、技術や動向などに関する知識を持つ。<br>・知識を活用して、問題解決や政策提言などの実践的なアプローチを行える。<br>【思考・判断・表現】<br>・各テーマについて自分なりの考えや見解を持ち、それを論理的に展開し、問題解決や政策提言を行える。<br>・多角的な視点を持ち、異なる分野の知識を組み合わせて、総合的に判断することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・自分の興味や関心に応じて情報収集や研究 | | | | 8<br>合計 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 尊重し、対話を通じて自分の考えを深める思考力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・主体的に学び、問題解決能力を高めるために、自己学習の習慣を身に | | を行うことができる。 | | | | 69 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |